



12月20日(土) 稲わらでクラフト

こんにちはメイちゃんです♪

環境学習講座「稲わらでクラフト」を開催したよ！

稲を根元から刈り取って乾燥させ、穂を取ったものが「わら」で、「ハカマ(葉)」、「稈(かん:幹)」、「ミゴ(穂首)」の3つの部分に分けられるよ。

今回はミゴ(穂首)を使ったミニほうき作り、叩いた藁を使ってしめ縄リース作りを行ったよ。

教えてくれたのは、わら工場の阿部茂巳さんです。

しめ縄は、豊作祈願の象徴で、ほろつきまがひん 農耕民族にとって最も大切な作物である米の収穫は神の恵みと考えられてきたよ。しめ縄はその収穫への感謝と翌年の豊作への祈りが込められた神聖な飾り物。

匠の手ほどきを受け、初めてわらをなう参加者も、立派なしめ縄リースを完成させることが出来ました！

わらは、単なる廃棄物ではなく、衣食住から祭祀に至るまで、生活のあらゆる場面で活用される不可欠な資源ということを経験することが出来たよ。

現代の稲作は、ほとんどがコンバインで刈り取られるため、わらを目にすることは減っているけど、それでもお米の副産物であるわらを使ってごこく豊穰を願い神様にお捧げする、そして物を大切にする日本の文化を次世代にもつなげていきたいね♪

講師の阿部さん、参加の皆さん、ありがとうございました。

